

地下資源調査所

部

圖書

# 地質調査所報告

第二百二十三號

(昭和十四年度事業報告)





地質調查所報告 第二百二十三號 昭和十六年三月

目次

昭和十四年度事業報告

# 昭和十四年度事業報告

## 目次

地質係	.....	一頁
油田係	.....	五頁
地形係	.....	八頁
分析係	.....	一四頁
鑛物陳列館	.....	一五頁
文庫	.....	一七頁
庶務	.....	二一頁
出版物	.....	二六頁
職員	.....	二八頁

# 昭和十四年度事業報告

地質調査所長 山根新次

## 地質係

### 一、圖幅調査

本年度ニ於テ調査シタル七萬五千分之一地質圖幅ハ其數七ニシテ其圖幅名調査員其他左表ニ示スガ如シ。

(圖幅名)	(調査員)	(野外調査期間)	(記 事)
鬼首	片山(信)技師	昭和十四年自七月十八日至十一月十日	本年度着手、調査未了
鹽原	岩生技師	昭和十四年自六月十三日至十月十一日	〃
福知山	千藤技師	同 十四年自十一月二十八日至一月二十四日	〃

久世山田技師

昭和十五年 自一月十八日至三月三十一日

本年度着手、調査未了

津和野 渡邊 囑託

昭和十五年 自十二月三十一日至一月十九日

〃

和歌山 宮本 技師

昭和十五年 自十二月三十一日至三月十五日

〃

本宮 鈴木 技師

昭和十五年 自一月三十一日至三月三十一日

〃

### 二、地質鑛床調査

#### 物理探鑛調査

(調査地)

(調査法)

(調査員)

(野外調査期間)

(記事)

青森縣上北郡高森鑛山

電氣

野口 技師

昭和十四年 自七月二十三日至九月十六日

北海道樺似郡幌瀨鑛山

電氣

紺野 技師

北海道上川郡鹽狩鑛山

電氣

紺野 技師

昭和十四年 自七月十五日至十一月十五日

福島縣南會津郡大宮鑛山

電氣

紺野 技師

静岡縣賀茂郡蓮臺寺鑛山	電氣	野口技師	昭和十四年 自十月十九日
静岡縣賀茂郡大道金山	電氣	野口技師	
宮崎縣東臼杵郡吉本鑛山	電氣	服部技師	昭和十四年 自十一月二十七日
奈良縣吉野郡共盛鑛山	電氣	紺野技師	昭和十五年 自三月三十一日
静岡縣田方郡藥師澤鑛山	電氣	野口技師	昭和十五年 自三月二十五日
福島縣相馬郡高倉鑛山	磁力	淵田技師	昭和十四年 自六月二十六日
北海道樺似郡幌滿鑛山	磁力	淵田技師	昭和十四年 自八月二十六日

### 三、特別調査

(調査地) (調査員) (野外期間) (記事)

秋田縣男鹿半島震災調査	遠藤技師	昭和十四年 自六月二十五日
青森縣高森鑛山	山根所長	昭和十四年 自八月三十一日
宮城縣鹽原	市村技師	昭和十四年 自十一月二十六日
三重縣志摩郡		
静岡縣志太郡		

福島縣田子倉水鉛鑛山調査  
 岩手縣黃金坪鑛山調査  
 岐阜縣本巢郡マンガン鑛床  
 高知縣安藝郡マンガン鑛床  
 德島縣那賀郡マンガン鑛床  
 長野縣上水内郡粉鐵鑛床  
 群馬縣多野郡マンガン鑛床

佐藤(源)技師 昭和十四年(自十一月二十日  
 至十二月二十日)  
 吉村技師 昭和十四年(自十二月三十日  
 至三月四日)  
 吉村技師 昭和十五年(自三月十五日  
 至三月三十一日)

#### 四、受託調査

本年度受託調査ハ十二件ニシテ其件名調査員其他左表ノ如シ。

(調査件名)

(調査員)

(野外調査期間)

(調査申請人)

新潟縣岩船郡大川谷村硫化鐵鑛  
 愛媛縣西宇和郡足成鐵山  
 山形縣西置賜郡長井町金井神鐵山  
 ルーマニヤ國油田  
 中華民國河北省金銀鑛及重晶石  
 滿洲國奉天省開原縣鐵鑛  
 長崎縣北松浦郡北松炭鑛

紺野技師  
 鈴木技師  
 野口技師  
 三土技師  
 鈴木技師  
 金原技師

昭和十四年(自五月五日  
 至五月二十二日)  
 昭和十四年(自五月六日  
 至五月十三日)  
 昭和十四年(自五月二十二日  
 至六月九日)  
 昭和十四年(自六月二十二日  
 至八月二十二日)  
 昭和十四年(自六月三十日  
 至八月十九日)  
 昭和十四年(自八月十四日  
 至八月三十一日)

滿洲化學工業株式會社  
 東京支店長 小林理一  
 同  
 東京支店長 小林理一  
 協和鑛業株式會社  
 常務取締役 本多敬太郎  
 東光商事株式會社  
 代表取締役 市川浩  
 北松炭鑛株式會社  
 代表取締役 富永能雄

滿洲國吉林省長春嶺硝石

滿洲國奉天省興京柳河縣炭田

愛媛縣北字和郡及東字和郡石油徵候  
地質調査

北海道釧路郡庶路炭田地震探鑛

富山縣中新川郡鐵鑛調査

富山縣下新川郡黑部銅山鑛床調査

佐藤技師  
山田囃託

鈴木技師  
及川囃託

金原技師

波江野技師

吉村技師

吉村技師

昭和十四年  
自九月十四日  
至十月九日

昭和十四年  
自十月五日  
至十月十三日

昭和十四年  
自九月十八日  
至九月二十四日

昭和十四年  
自十月三十日  
至十一月二十八日

昭和十四年  
自十月二十六日  
至十月三十日

昭和十四年  
自十一月四日  
至十一月十二日

三井物産株式會社  
營業部長 今井富之助

滿洲鑛業開發株式會社  
理事 長 竹內德亥

藤本藤平

明治鑛業會社  
代表取締役 松本幹一郎

高見之通

黑部銅山開發株式會社  
代表取締役 菊池六輔

## 油 田 係

### 一、油 田 調 査

本年度ニ於テ調査シタル油田精査、物理探鑛、試錐各調査區域、調査員其他ハ左表ノ如シ。

### (イ) 油田地質精査

(調査油田)

(調査員)

(野外調査期間)

(記事)

北海道川端

竹原技師

昭和十四年  
自八月二十日  
至十二月二十日

北海道初山別

千谷技師

昭和十四年  
自九月二十四日  
至十月九日

北海道當別

橋本技師

昭和十四年  
自十二月二十五日  
至十二月十五日

青森縣鯨ヶ澤

八木技師

昭和十四年  
自十月十八日  
至十二月十六日

秋田縣龜田油田南部

金原技師

昭和十四年  
自十月四日  
至十二月三日

秋田縣白雪川

金原技師

昭和十四年  
自十月四日  
至十二月三日

秋田縣雄物川

兼子技師

昭和十四年  
自八月二十三日  
至十二月三十一日

新潟縣郷津

兼子技師

昭和十四年  
自八月二十三日  
至十二月三十一日

新潟縣八石

池邊技師

昭和十四年  
自六月五日  
至十一月一日

新潟縣柏崎

池邊技師

昭和十四年  
自六月五日  
至十一月一日

(口) 物理探鑛調査

地下構造調査

(調 査 地)

秋田縣 河邊郡仁井田村地方  
南秋田郡上井河村地方

新潟縣 中蒲原郡小須戸町

新潟縣 南蒲原郡中之島村地方

新潟縣 中頸城郡保倉村地方

北海道 石狩郡石狩町地方

秋田縣 山本郡 鷓川村、淺  
内村、濱口村

新潟縣 北蒲原郡長浦村地方

(調 査 員)

淵田技師

西川技師

西川技師

西川技師

波江野技師

波江野技師

波江野技師

(野 外 調 査 期 間)

昭和十四年 自七月二十二日  
至八月二十五日

昭和十四年 自六月二十三日  
至十月二十四日

昭和十四年 自九月二十二日  
至十二月二十八日

昭和十五年 自三月二十六日  
至三月三十一日

(記 事)

新津油田南部

大口油田

能代油田

(八) 試 錐 調 査

(調 査 地)

秋田縣 山本郡鷓川村

秋田縣 南秋田郡下井河村

秋田縣 南秋田郡上井河村

(試錐深度)

三〇〇米

三〇〇米

三〇〇米

完了

完了

完了

(記 事)

能代油田

五城目油田

同

新潟縣 北蒲原郡 木崎村  
新潟縣 中蒲原郡 小須戸町

七一・六〇米  
一一三・九四米

地層崩壊ノ爲メ掘進進捗セス  
地層崩壊ノ爲メ掘進進捗セス

木崎油田  
新津油田南部

(二) 特別調査

(調 査 件 名)

(調 査 員)

(野 外 調 査 期 間)

秋田縣 山本郡常盤村 試掘井調査  
河邊郡仁井田村  
岡山縣 津山市石油徴候地調査  
青森縣 上北郡高森鐵山調査  
秋田縣 山本郡鷓川村及濱口村試錐地調査  
新潟縣 北蒲原郡黑川村及木崎村試錐地調査  
秋田縣 山本郡鷓川村 試錐地調査  
秋田縣 山本郡淺内村 試錐地調査  
新潟縣 中蒲原郡小須戸町 試錐地調査  
靜岡縣 燒津町天然瓦斯調査

千谷技師  
金原技師  
千谷技師  
兼子技師  
千谷技師  
近藤技師

昭和十四年 自六月十一日至六月十五日  
昭和十四年 自九月六日至九月六日  
昭和十四年 自十一月二十五日至十二月六日  
昭和十五年 自一月十八日至一月二十一日  
昭和十五年 自三月十六日至三月十六日  
昭和十五年 自三月二十七日至三月二十七日

地 形 係

(甲) 測量

一、圖幅測量

本年度ニ於テハ圖幅測量ハ之ヲ施行セズ。

二、地質鑛床調査ニ伴フ測量

本年度ニ於テ施行シタル地質鑛床調査ニ伴フ測量ハ左ノ如シ。

(測量地名)

(測量員)

(測量期間)

(記事)

福島縣相馬郡高倉鑛山

芦澤技手

昭和十四年 自六月二十六日 至七月十日

淵田技師ノ調査ニ伴フ

北海道様似郡幌滿鑛山

芦澤技手

昭和十四年 自七月二十三日 至八月三十一日

同

青森縣上北郡高森鑛山

篠木 雇

昭和十四年 自七月二十六日 至九月十六日

野口技師ノ調査ニ伴フ

北海道様似郡幌滿鑛山  
上川郡鹽狩鑛山

野口 雇

昭和十四年 自七月二十九日 至七月十四日

紺野技師ノ調査ニ伴フ

北海道様似郡様似鑛山

及川 囑託

昭和十四年 自八月十二日 至八月二十五日

同

静岡縣加茂郡蓮臺寺鑛山  
同 郡大道鑛山

篠木 技手

昭和十四年 自十月四日 至十月十九日

野口技師ノ調査ニ伴フ

宮崎縣東臼杵郡吉本鑛山

篠木 技手

昭和十四年 自十月二十日 至十一月二十七日

服部技師ノ調査ニ伴フ



北海道石狩郡當別油田

新潟縣中頸城郡郷津油田

新潟縣中蒲原郡小須戸町、南蒲原郡中之島村地方 中頸城郡保倉村地方

新潟縣刈羽郡、北魚沼郡、三島郡、柏崎油田、八石油田

秋田縣由利郡白雪川油田

秋田縣由利郡白雪川油田 同 縣南秋田郡龜田油田南部

秋田縣河邊郡仁井田村地方 同 縣南秋田郡上井河村地方

北海道石狩郡石狩町地方 秋田縣山本郡鶴川村地方

青森縣西津輕郡鯨ヶ澤油田

鈴木正一 技手 履

小松 技手

森山 技手 履

村上 履

堀本 履

久松 技手 履

中澤 履

鈴木昇 技手

金子 技手 履

和 田 履

芦澤 技手

山田 技手

小川 技手 履

昭和十四年 自八月一日 至九月二十五日

昭和十四年 自七月二十六日 至九月二十五日

昭和十四年 自六月二十二日 至七月八日

昭和十四年 自六月二十二日 至七月七日

昭和十四年 自六月二十三日 至十月二十四日

昭和十四年 自六月二十四日 至十月二十三日

昭和十四年 自六月二十四日 至七月七日

昭和十四年 自六月二十四日 至十月二十一日

昭和十四年 自七月十一日 至七月二十二日

昭和十四年 自九月二十二日 至十月二十八日

昭和十四年 自九月二十五日 至三月十五日

昭和十四年 自九月二十八日 至三月四日

橋本技師ノ調査ニ伴フ

同

兼子技師ノ調査ニ伴フ

同

西川技師ノ調査ニ伴フ

池邊技師ノ調査ニ伴フ

金原技師ノ調査ニ伴フ

同

淵田技師ノ調査ニ伴フ

波江野技師ノ調査ニ伴フ

八木技師ノ調査ニ伴フ

同

四、受託調査二件ノ測量

本年度ニ於テ施行シタル受託調査ニ件ヲ測量ハ左ノ如シ。

(調査件名)	(測量員)	(野外測量期間)	(記事)
新潟縣岩船郡大川谷村硫化鐵鑛床電氣探鑛	村 尾 履	昭和十四年 自五月二十二日 至五月二十二日	紺野技師ノ調査ニ件ヲ
山形縣西置賜郡長井村金井神鑛山電氣探鑛	芦 澤 技 手	昭和十四年 自五月二十二日 至六月九日	野口技師ノ調査ニ件ヲ
滿洲國吉林省長春嶺硝石	山 田 囑 託	昭和十四年 自九月十四日 至十月十日	佐藤技師ノ調査ニ件ヲ
滿洲國奉天省興京柳河縣炭田	及 川 囑 託	昭和十四年 自十月十五日 至十月十五日	鈴木技師ノ調査ニ件ヲ
北海道釧路郡、白糠郡庶路炭田地震探鑛	山 田 技 手	昭和十四年 自十月二十九日 至十二月二十八日	波江野技師ノ調査ニ件ヲ

(乙) 製 圖

一、圖 幅

七萬五千分之一圖幅地形原圖ノ本年度中ニ完成セルモノ其數四、着手後未完成ノモノ其數五ニシテ其圖幅名、製圖員其他左表ノ如シ。

(圖幅名)

(製圖員)

(記)

(事)

鶴	琴	那	森	八	浪	佐	鹽	福
來	平	智	山	同	江	伯	原	知
奧	小	神	笹	同	淺	相	同	山
田	宮	村	原	同	小	見	同	小
技	山	技	技	同	宮	岡	同	宮
手	技	手	手	同	山	囀	同	山
	手	手	手	同	囀	技	同	技
	手	手	手	同	手	手	同	手
	手	手	手	同	託	手	同	手

昭和十一年度着手、本年度未完成  
 同 十二年度着手 同  
 同 十三年度着手 同  
 同 十二年度着手 本年度完成  
 本年度着手、同  
 同  
 昭和十三年度着手、同  
 本年度着手、本年度未完成  
 同

### 二、油田地形及地質圖

本年度ニ於テ施行シタル油田地形及地質圖製圖ハ左ノ如シ。

(油田圖名)

(製圖員)

(記)

(事)

振	湯
老	西
小	鈴
水	橋
中	木
野	本
川	良
技	朗
技	技
手	手
履	手

昭和十三年度着手、昭和十四年度完成  
 同

竹	八	七
澤	森	座
奥	秋武	浅鈴
田	野田	木
技	技	正
手	手	兜
同	同	託手
同	同	同

三、特別製圖

本年度ニ於テハ特別製圖ハ之ヲ施行セズ。

分析係

本年度ニ於ケル分析品目、個數、成分檢定數細別左表ノ如シ。

石	頁	蝨	粘	石	岩
綿	岩	石	土	岩	石
(品名)					
(個數)					
七	五	六	八	四	三二
(成分檢定數)					
四二	一一	三〇	四二	四〇	一一七
硫	石	黑	地	鑛	タンタル
黄					鑛
鑛	炭	鉛	金	石	
(品名)					
(個數)					
七	二三	四	二	一〇二	二
(成分檢定數)					
七	一〇五	一六	一〇	三三二	四

重晶石	九	三六	原	油	四	三九
金銀鑛	三〇二	六一三	油	砂	四四	一七三
銅鑛	一一	二四	天然瓦斯	斯	三七	一八五
鐵鑛	三八	二二二	天然鹽	泉	一	一
ニッケル鑛	四三	一五〇	鑛		四五	二八九
タンゲステン鑛	六五	七六	計		八一七	二、五九六
モリブデン鑛	一六	三二				

右ノ外工業品規格統一調査會ニ於ケルマンガン青銅、燐青銅、アルミニウム地金及マグネシウム地金ノ分析法制定ノ爲前年度ヨリ引續キ研究分析ヲ、又日本製鐵株式會社八幡製鐵所製造ニ係ル日本鐵鋼標準試料ノ中低磷銑一、合金鐵八、炭素鋼四、鐵鑛石一、マンガン鑛石一計一五種一五五成分ノ證明分析ヲ施行セリ。平塚技師ハ昭和十四年十月二十四日ヨリ三日間北海道鴻ノ舞鑛業所ニ於テ開催セラレタル鑛產物分析法協議會ニ出席シ、又近藤技師ニ伴ヒ石田技手ハ昭和十五年三月二十一日ヨリ七日間天然瓦斯調査ノ爲静岡縣燒津町ニ出張セリ。

## 鑛物陳列館

陳列中ノ鑛物、岩石、鑛石及化石竝ニ本所出版地質圖類ハ本年度末ニ於テ總計約七千七百二十點ニ達シ、茲ニ新タニ其中ニ支那、滿洲ノ鑛石ヲモ陳列スルコトトセリ。

本年度内ニハ購入標品ナカリシモ本所員蒐集ニ依ルモノ及所外有志ノ寄贈ニヨルモノ多數アリ。

本年度ニ於ケル參觀者小計五百餘名ニシテ、昭和八年開館以來ノ累計約二千七百餘名ナリ。尙本年度ニ於テハ所員ノ員數著シク増加シ、所内狹隘ヲ告ゲタル爲、止ムナク陳列館ノ一部ヲ物理探鑛實驗室及製圖室ニ當テタリ。

左ニ受領セル寄贈標品及寄贈者芳名ヲ錄シ、以ツテ謝意ヲ表セン。

(鑛物名)		(産地)	(寄贈者)	
輝沸石ヲ伴フ金鑛	琥珀	鹿兒島縣始良郡栗野町王ノ山鑛山	下橋貫一	
ズニ石	石	岩手縣九戸郡夏井村鳥谷鑛山	東洋琥珀株式會社	
螢石	石	群馬縣草津附近入山鑛山	伊藤貞市	
テール金鑛	石	滿洲國ハルビン附近玉泉	須藤俊男	
同三石	種	靜岡縣賀茂郡河津鑛山須崎坑	前川信	
テール石	種	蓮臺寺檜澤	同	
			同	



大學、學會、博物館等  
社

計

四六  
二  
七四

三  
一五

四五八  
九  
六九九

本年度交換先以外ノ箇處ヨリ圖書ノ寄贈ヲ受ケタルモノ二十七箇處、個人ノ好意ニヨリ貴重ナル圖書ノ寄贈アリタルモノ十八件アリ、何レモ本所ノ事業上有益ナル參考資料タリ。之ヲ左ニ錄シテ以テ謝意ヲ表ス。

(寄贈者)

(箇處數)

(地質圖)

(地形圖)

(報文類)

官  
大學、學會、圖書館等  
會  
社  
個  
計

八  
一六  
一六  
五  
一〇二

一  
八七  
九  
六

一  
一  
一  
七

一五  
一一〇  
二〇  
五九  
二一四

本邦ノ官廳、大學、圖書館、博物館、會社及個人ニ對シ本所出版物ヲ發送シタル交換先六十箇處、其他二百二十五箇處ニシテ寄贈圖書及部數左ノ如シ。

(交換先)

(箇處數)

(地質調査所  
報告)

(地質圖幅及  
同說明書)

(油田圖及  
同說明書)

(常磐炭田圖  
及同說明書)

官  
大學、學會、圖書館、博物館等  
會  
社

計

二四  
三二  
四  
六〇

二五  
三三  
四  
六二

二五〇  
三三〇  
四〇  
六二〇

一〇〇  
一三二  
一六  
二四八

七五  
一〇五  
一二  
一九二

(其他)

官  
大學、學會、圖書館等  
會  
社  
個  
計  
合  
計

七五  
六五  
一〇  
七五  
二二五  
二八五

七五  
七〇  
一〇  
七五  
二三〇  
二九二

七五〇  
七〇〇  
一〇〇  
七五〇  
二、三〇〇  
二、九二〇

三〇〇  
二八〇  
四〇  
三〇〇  
九二〇  
一、一六八

二二五  
二一〇  
三〇  
二二五  
六九〇  
八八二

外國ヨリ出版物ノ寄贈アリタルハ交換先百八十一箇處ノ内百六箇處ニシテ地質圖二十八、  
報文雜誌等九百一冊アリ、大陸別ニ分ケテ表示スレバ次ノ如シ。

(交換先)			(受入圖書)		
歐羅巴	南 北 利 加 亞	亞 細 亞	地 質 圖	報 文 雜 誌 等	
一二	九	三	二五	三三	
三六	二七	九	三	五六八	
四八	三六	一二	二八	九〇一	
計			一〇六		

外國ノ交換先以外ノ學會、大學、學士院等ヨリ特ニ好意ヲ以テ圖書ノ寄贈ヲ受ケタルモノノ十六箇處、出版物二十九冊ナリトス。茲ニ誌シテ謝意ヲ表ス。

(寄贈者)			(受入圖書)		
歐羅巴	南 北 利 加 亞	亞 細 亞	地 質 圖	報 文 類	
五	五	二		二九	
計			一六		

外國ノ地質調査所、大學、學會、博物館、圖書館等ニ我出版物ヲ發送シタルハ交換先ヘハ百十八箇處其他ノ寄贈先四十六箇處ニシテ其發送部數ヲ表示スレバ左ノ如シ。

(交換先)			(發送出版物)		
歐羅巴	南 北 利 加 亞	亞 細 亞	地 質 圖	同上	說明書
二四	一五	五	二二九	二二九	二二九
三三	二二	五	二二六	二二六	二二六
五七	三七	一〇	四五五	四五五	四五五
計			九	六	三

地質調査所、大學、學會、博物館、圖書館等

(寄贈先)

地質調査所  
大學、學會、博物  
館、圖書館等

計

一一 |

一一 |

八七 |

三三 |

三三 |

四六 |

七二 |

七二 |

購入圖書ハ書籍三八冊、歐文雜誌十七種ニシテ三百九十四冊ナリ。

(書)

籍)

(歐

文

種

誌)

地質學及地理學ニ關スルモノ  
物理探鏡ニ關スルモノ  
化學及其應用ニ關スルモノ  
其他

合

計

一六冊  
二 四 一六 三八

一七  
三 三 |

二七冊  
一一 一〇五 三九四

庶

務

所員異動左ノ如シ

任命

技師 服部信一

技師 西川與志男

技師 村田近良

技師 千藤忠昌

技師 吉村豐文

技師 八木次男

技師 宮本弘道

技師 橋本克巳

技師 田中元之進

技師 山田節三

技師 佐藤光之助

技師 小川清澄

技師 近藤信興

技師 河野義禮

技師 村上義朗

技師 片山勝

屬 葛西英二

技手 森守之助

技手 栗原重利

技手 山下修二

技手 山田千稻

技手 直井正作

技手 鈴木良朗

技手 松元重人

技手 北島三郎

技手 鈴木正一

技手 堀本健次

技手 篠木安雄

技手 駒込肇

技手 野口保夫

退

職

技師	技師	技師	技手	技手	技手	技手	技手	技手	技手	技手	技手	技手	技手	技手
飯塚保五郎	村田近良	吉田貞次	鈴木俊郎	蜷川親治	藤本辨藏	萱間泰雄	橋本與太郎	金子純	金井光明	中澤次男	各務美信	鐵羅和夫	野口勝	

技師 赤木 健

技師 小川 清澄

技手 武田 季次郎

技手 藤谷 吉太郎

技手 高橋 正道

囑託 大野 尠

轉職

興亞院技師 技師 遠藤 六郎

同 技師 佐藤 源郎

死亡

技手 駒込 肇

報告會 本年度ニ於ケル報告會ハ五回開催シ、各技術官擔任ノ業務ニ就キ報告ヲ爲シ討議

研究セリ。

經費 本年度ニ於ケル經費左ノ如シ。

經常費

俸給

五九、六一圓

事業費

四六、〇三四圓

臨時費

油田地質精査費

俸給

四九、四八五圓

事業費

二二〇、二七七圓

油田調査ノ物理探鑛施設擴充費

俸給

三、九七八圓

事業費

二七、九三〇圓

地質鑛床調査費

俸給

一〇、四一六八七圓

事業費

一一五、四三八五圓

出版物

地質調査所報告

第一二二號

昭和十三年度事業報告

地質調査所長

山根

新

次

地質圖幅說明書

大聖寺圖幅

商工技師

菌部

龍

一

大日本帝國油田圖

第四十區

新潟縣鹽谷油田地形及地質圖

商工技師

松澤

勳

第四十三區

新潟縣川口油田地形及地質圖

商工技師

金原

均

二

炭田圖並ニ同說明書

常磐炭田第四區

常陸國多賀郡磯原町  
磐城國石城郡勿來町附近地質圖

商工技師

渡邊

久

吉

常磐炭田第五區常陸國多賀郡松原町附近地質圖

商工技師

紺野

芳

雄

炭田圖

常磐炭田第六區磐城國久之濱町附近地質圖

商工技師

紺野

芳

雄



屬 佐藤友治郎

屬 秋本龍雄

屬 河野輝一

屬 葛西英二

技手久松將四郎

技手神村龍造

技手相見角治

技手奧田稔

技手米谷菊太郎

技手笹原榮雄

技手小宮山湛

技手松崎美房

技手小松直藏

技手山田千稻

技手石田與之助

技手栗原重利

技手磯野清

技手秋野梅太郎

技手齊藤正次

技手鈴木昇

技手芦澤文夫

技手森守之助

技手直井正作

技手鈴木良朗

技手萱間泰雄

技手田畑政治

技手室住正義

技手北島三郎

技手水野初

技手田村清一

技手山下章

技手萬芳三

技手白土忠

技手野口保夫

技手加々美時寬

技手山下脩二

技手鈴木正一

技手松元重人

技手金子政利

技手川田福三

技手古澤實

技手堀本健次

技手篠木安雄

技手野口勝

技手鐵羅和夫

技手橋本與太郎

技手藤本辨藏

技手鈴木俊郎

技手各務美信

技手中澤次男

技手金井光明

技手金子純

技手蜷川親治

囑託笹井泰造

囑託及川常吉

囑託淺岡隼太

囑託山田正

囑託松澤武雄

囑託渡邊久吉

休職

技手磯崎三郎

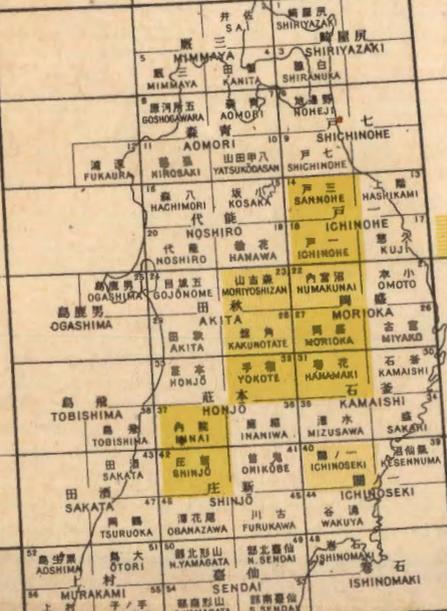
圖錄目圖質地

INDEX TO THE GEOLOGICAL MAPS

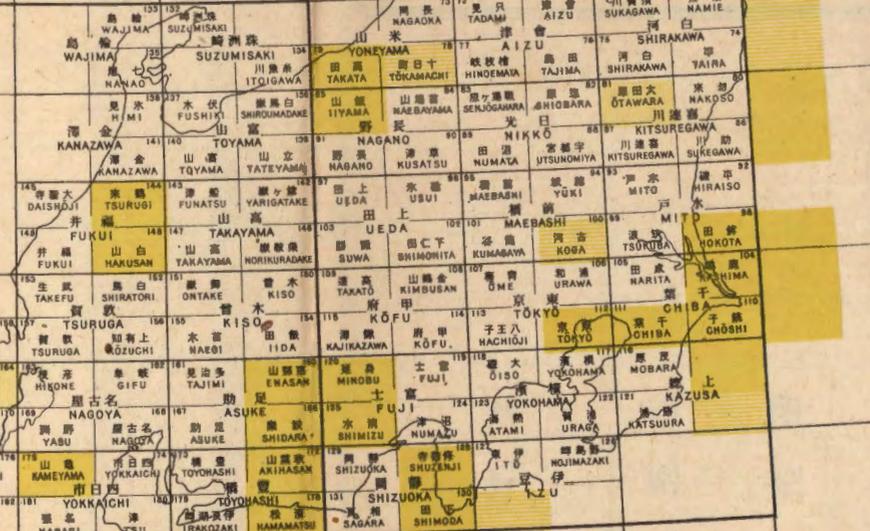
-  四十萬分一地圖又地形圖  
1:400,000 Geological or  
Topographical Map
-  二十萬分一地圖又地形圖  
1:200,000 Geological or  
Topographical Sheet-map
-  七萬五千分一地圖圖幅  
1:75,000 Geological Sheet-map

版紙  
Cut of Print

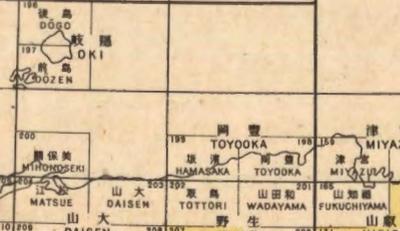
DIVISION I. 部北東



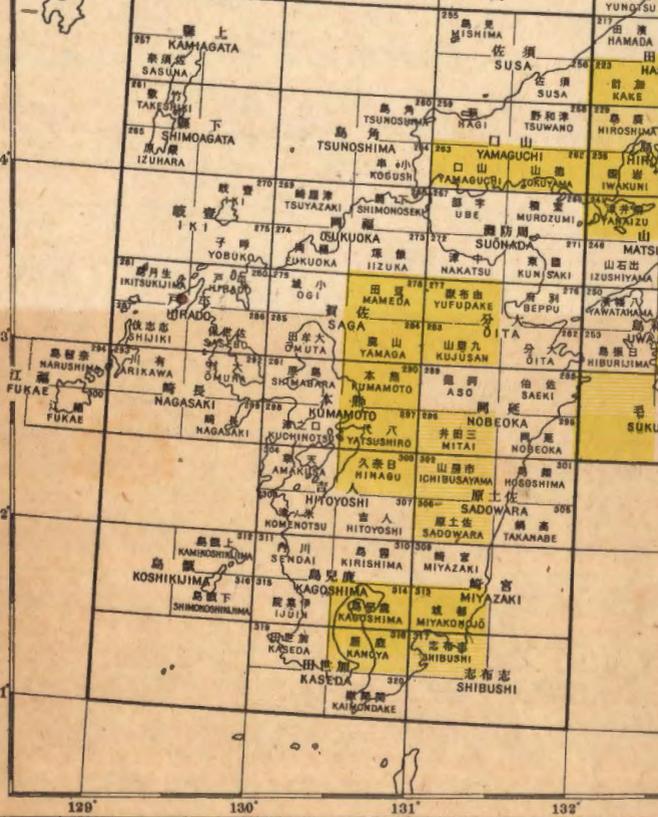
DIVISION III. 部中



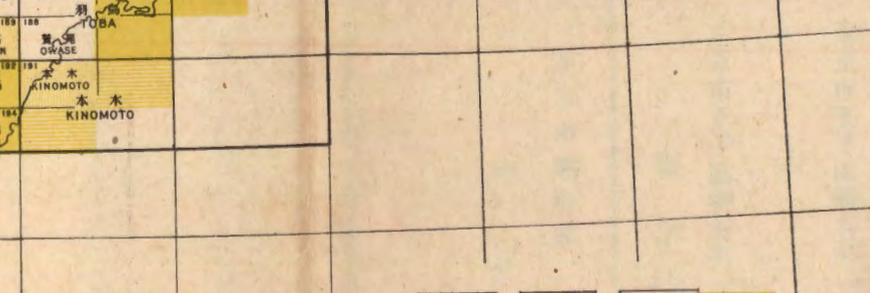
DIVISION IV. 部西



DIVISION V. 部南西



DIVISION II. 部東



 調査中  
Under survey  
 調査済  
Survey completed  
 出版済  
Published

所查調質地

IMPERIAL GEOLOGICAL SURVEY OF JAPAN

1941 年六十和曆

昭和十六年三月二十五日印刷

昭和十六年三月三十一日發行

停

定價金 七拾錢  
郵稅金 六錢

著作權所有

商 工 省

東京市王子區神谷町一丁目四八二番地

印刷者

吉 田 了 太

東京市王子區神谷町一丁目四八二番地

印刷所

東京印刷株式會社

東京市麴町區二番町十二番地

發行所

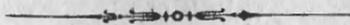
東京地學協會

電話九段(33)〇五〇九番

振替口座東京六六二七八番

# IMPERIAL GEOLOGICAL SURVEY OF JAPAN

REPORT No. 123



Annual Report for the Year ended March 31, 1940

By

SHINJI YAMANE, Director

**Division of Geology :** The mapping works of the 1:75,000 Geological Sheet Map areas of Onikôbe (Zone 11, Col. III, No. 41), Shiobara (Zone 19, Col. V, No. 82), Fukuchiyama (Zone 25, Col. XIV, No. 165), Kûze (Zone 26, Col. XVII, No. 208), Tsuwano (Zone 29, Col. XXI, No. 258), Wakayama (Zone 30, Col. XIV, No. 190) and Hongû (Zone 131, Col. XIII, No. 192), were commenced by eight geologists.

As the works of Geological and Mineralogical Survey, six geophysicists were sent to prospect the metal mines of Horoman and Shiokari in Hokkaidô, Takamori in Aomori, Ômiya and Takakura in Fukushima, Rendaiji, Daidô and Yakushizawa in Shizuoka, Kyôsei in Nara, and Yoshimoto in Miyazaki. Most of them were electrically surveyed, while a few of them were surveyed magnetometrically.

Several geologists were engaged in the special geological works to investigate the geology and ore deposits of the following localities: the Takamori copper mine in Aomori, the Tagokura molybdene mine in Fukushima, the Koganetsubo tungsten mine in Iwate, the manganese iron ore deposits in Shima-gun in Miye, Shida-gun in Shizuoka, Aki-gun in Kôchi and Naka-gun in Tokushima, and the manganese ore deposits in Motosu-gun in Gifu and Tano-gun in Gumma. Also a geologist was despatched to investigate the earthquake occurred at Oga Peninsula in Akita.

In response to the requests offered from the public, several geologists, topographers and a few geophysicists were sent to investigate the geology and mineral resources of various localities, which are as follows: the Shoro coal field in Hokkaidô, the Kanaigami mine in Yamagata, the pyrite deposits at Ôkawadani-mura in Niigata, the iron ore deposits in Naka-shinkawa-gun and the Kurobe copper mine in Toyama, the Ashinari mine in Ehime, the dubious oil seepages in Kitauwa-gun and Higashi-uwa-gun in Ehime, the Hokushô colliery in Nagasaki, the coal fields of Hsingchanghsien and Linhsien, the nitrate deposits at Changchunling and the iron ore deposits at Kaiyuansien in Manchukuo, the gold and silver ore deposits and the barite deposits in Hopei Province in China, and the oil fields in Rumania.

**Division of Oil-Land Survey:** Seven geologists were at work in the oil fields, which are as follows: Kawabata, Shosambetsu and Tôbetsu in Hokkaidô, Ajigasawa in Aomori, southern

part of Kameda, Shirayuki-gawa and Omono-gawa in Akita, and Gôzu, Hachikoku and Kashiwazaki in Niigata.

Three geophysicists were engaged in the geophysical prospecting of the oil field structures of ten districts; they are as follows: Ishikari-machi in Hokkaidô, Ukawa-mura and its vicinity, Kami-ikawa-mura and Niida-mura in Akita, and Naganuma-mura and Kosudo-machi in Niigata. Most of them were seismically prospected, while at a few of them the torsion-balance was used.

To test the geological structures five core-borings up to the depth of 300 metres were drilled in oil fields in Akita and Niigata.

As the special work of oil geology two geologists were sent to conduct the above-cited drilling operations and to examine the cores. Also two geologists were sent to investigate the gas field of Yaizu-machi in Shizuoka and the dubious oil seepage at Tsuyama City in Okayama.

**Division of Topography:** The field and drafting works of topographical mapping were mainly carried on in connection with the Oil-Land Survey and the geophysical prospectings. The field works of eleven topographical maps of oil fields and drafting works of five topographical and geological maps of them were completed. Besides a number of topographical maps of some mineral districts on large scales were prepared.

The drafting works of the 1:75,000 Geological Sheet-Maps of Moriyoshi-yama, Hachimori, Namie and Saeki were com-

pleted, while those of Shiobara and Fukuchiyama were commenced, and together with those of Tsurugi, Kotohira and Nachi were in progress at the end of the year.

**Division of Chemistry :** Rocks, metallic ores, minerals, industrial minerals, coals, petroleum, natural gases, mineral springs and others which were analysed during the year are numbered at 817.

**Museum :** Specimens of minerals, rocks, ores, fossils and geological maps exhibited in the museum counted 7,720 at the end of the year. The museum is indebted to several generous donors outside the Survey for the valuable presentation of specimens of ten minerals and an ore to the collections during the the year.

**Library :** Number of volumes of independent works, pamphlets, part of serials and maps which were added to the collections during the year is as follows :

	Volumes, pamphlets and parts of serials	Maps
By exchange at home .....	913	124
By exchange from abroad .....	930	28
By contribution at home.....	5,262	4,970
By contribution from abroad.....	576	567
By purchase .....	432	—
Total .....	8,113	5,689

**General Affairs :** Phenomenal changes took place in the Survey staff during the year: ten geologists, two engineers, a clerk, eleven topographers, four cartographers, eight assistant-

engineers and an assistant-chemist were newly appointed, while five geologists, two engineers, a topographer, an assistant-engineer and an assistant-chemist retired from their posts, and an assistant-engineer died.

The government's appropriation of the year granted to the Survey was as follows:—

For the geological survey work .....	{ Salaries	¥ 59,681
	{ Working expenses	46,034
For the detailed oil-land survey work .....	{ Salaries	49,485
	{ Working expenses	220,277
For the augmentation of geophysical prospectings...	{ Salaries	3,978
	{ Working expenses	27,930
For the geological and mineralogical survey work .....	{ Salaries	15,015
	{ Working expenses	168,313
Total .....		¥ 590,713

**Publications:** The following publications were issued from the Survey during the year:

Report of the Imperial Geological Survey of Japan,

No. 122.....Annual Report for the Year ended March 31, 1939. By Shinji Yamane, Director.

Explanatory Text of the 1:75,000 Geological Sheet-Maps, Daishōji (Zone 21, Col. XII, No. 145).

By Ryūichi Sonobe.

The Topographical and Geological Maps of the Oil Fields of the Japanese Empire,

Section XL. The Shiodani Oil Field in Pref. Niigata.

By Isao Matuzawa.

Section XLIII. The Kawaguchi Oil Field in Pref. Niigata.

By Kinji Kanehara.

The Detailed Geological Maps of the Jōban Coal Field with the  
Texts of Explanation,

Maps and Texts

Section IV

By Kyūkiichi Watanabe.

Section V

By Yoshio Konno.

Map only

Section VI

By Yoshio Konno.

---



IMPERIAL

GEOLOGICAL SURVEY

OF

JAPAN



REPORT No. 123



TOKYO, 1941